

令和3年度 第69回 全国商業教育研究大会発表資料
〔マーケティング・マネジメント分野〕

高校生発地域イノベーション 研究実践報告

～イノベーション教育の観点から～

兵庫県立神戸商業高等学校

兵庫県立長田商業高等学校

教諭 都築 紫峰

教諭 芝本 龍也

1

はじめに



研究の背景

OECD

「ラーニングコンパス」

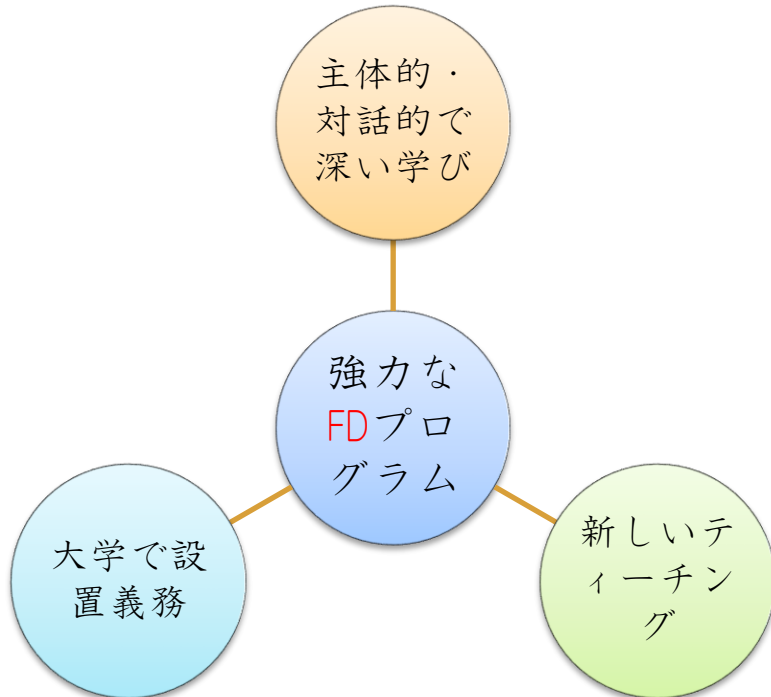
(Learning Framework 2030)

生徒エージェンシー
共同エージェンシー
の重要性





新学習指導要領とFD



兵庫県商業教育協会研修委員会のFDプログラム

土持(2018)「FDとは継続的な改善 ～アメリカのFDの過去・現在・未来～」,アルカディア学報(教育学術新聞掲載コラム),No.631,日本私立大学協会

既存研究 「イノベーション教育」

The screenshot shows the homepage of the Japan Innovative Schools Network (ISN). At the top left is the logo for the network. The main header includes the text "日本イノベーション教育ネットワーク (協力OECD)" and "Japan Innovative Schools Network supported by OECD". A navigation menu contains links for Home, Overview, News, Activities, Participation, Research, Partners, Support, Archives, and Contact. A central banner features a video player with a grid of participants and a quote from Andreas Schleicher, OECD Director for Education and Skills: "We can use the momentum from the crisis to reshape curricula and learning environments to the needs of the 21st century." Below the banner, there is a paragraph in Japanese: "OECD Education2030グローバル・フォーラム（オンライン）に ISN参加校から代表生徒、教員、研究者が参加し、コロナ禍の休校中・また学校再開に向けての課題と解決策を話し合いました". At the bottom of the banner are four dots and a red arrow icon.

<https://innovativeschools.jp/>

地方創生イノベーション
スクールの実践と研究



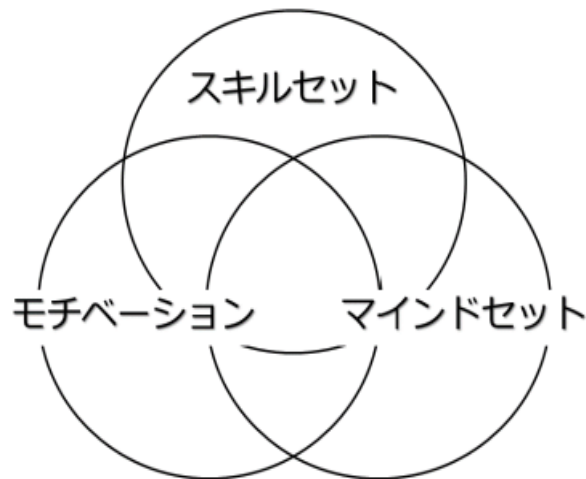
イノベーション教育 ＝イノベーション人材育成



東大発イノベーション教育プログラムi.school

i.schoolは2009年に東京大学で始まったイノベーション教育プログラムです。このプログラムでは社会的課題を解決するアイデア創出法に焦点を当て、人間中心イノベーションを体系的に学んでいます。主に大学院生を対象とした通年のプログラムで単位も学位も出ませんが、毎年多くの優秀な学生が集まり、修了生は130名以上にのぼります。2017年度にi.schoolは東京大学から独立し、より開かれた教育活動を目指しています。

<https://ischool.or.jp/>



イノベーション人材に必要な要素
小村 (2017) より引用



イノベーション教育 ＝イノベーション人材育成



<http://innovationclub.jp/>

「未来創造型のスキルを身に付けることがこれからの時代を生きる上で欠かせない」

i.club「未来を創るイノベーションの教室」より



研究の流れ

兵庫県高等学校商業教育協会の研修事業 (FD)

アイデア創造に関する知識と方法論

0から1を創出する方法

「ミラクルワードカード」

実践[イノベーション・ワークショップ]

大学、企業と連携

知識の応用・実践

学習と評価が一体化したICEモデルの導入

評価の方法論

主体的な学びの方法論

神戸商業高校での実践

イノベーション教育の普及

イノベーション教育の可能性

イノベーション教育プログラムとして確立

2

アイデア創造実践①

平成30年度（2018年8月）
アイデア創造の作法

商工教育
協会
研修委員会

「商品開発」における アイデア創造の作法

マーケティング・ビジネス経済分野研修会として、科目「商品開発」や「マーケティング」担当教員および生徒を対象に、下記の研修会を実施します。ぜひ参加ください。

日時 2018年 8月27日(日) 9:00-13:00

会場 兵庫県立神戸商業高等学校
（本校校舎 第3講堂1階）

講師の氏 第一副校長 山崎 伸彦 氏

9:00-10:30 (90分×2)
生徒学習講座
「商品開発の作法」を学ぶ

11:00-13:00
教員研修講座
「商品開発の教育手法」を学ぶ

「商品開発」は、製品やサービスの開発から市場に提供されるまでの一連の過程であり、その中でも「アイデア創造」は最も重要なステップです。本研修会では、アイデア創造の手法や教育手法について学び、実践的な知識とスキルを身につけていただきます。

〒650-0192 兵庫県神戸市東灘区東灘1-1-1
TEL 078-707-5404



アイデア創造の作法

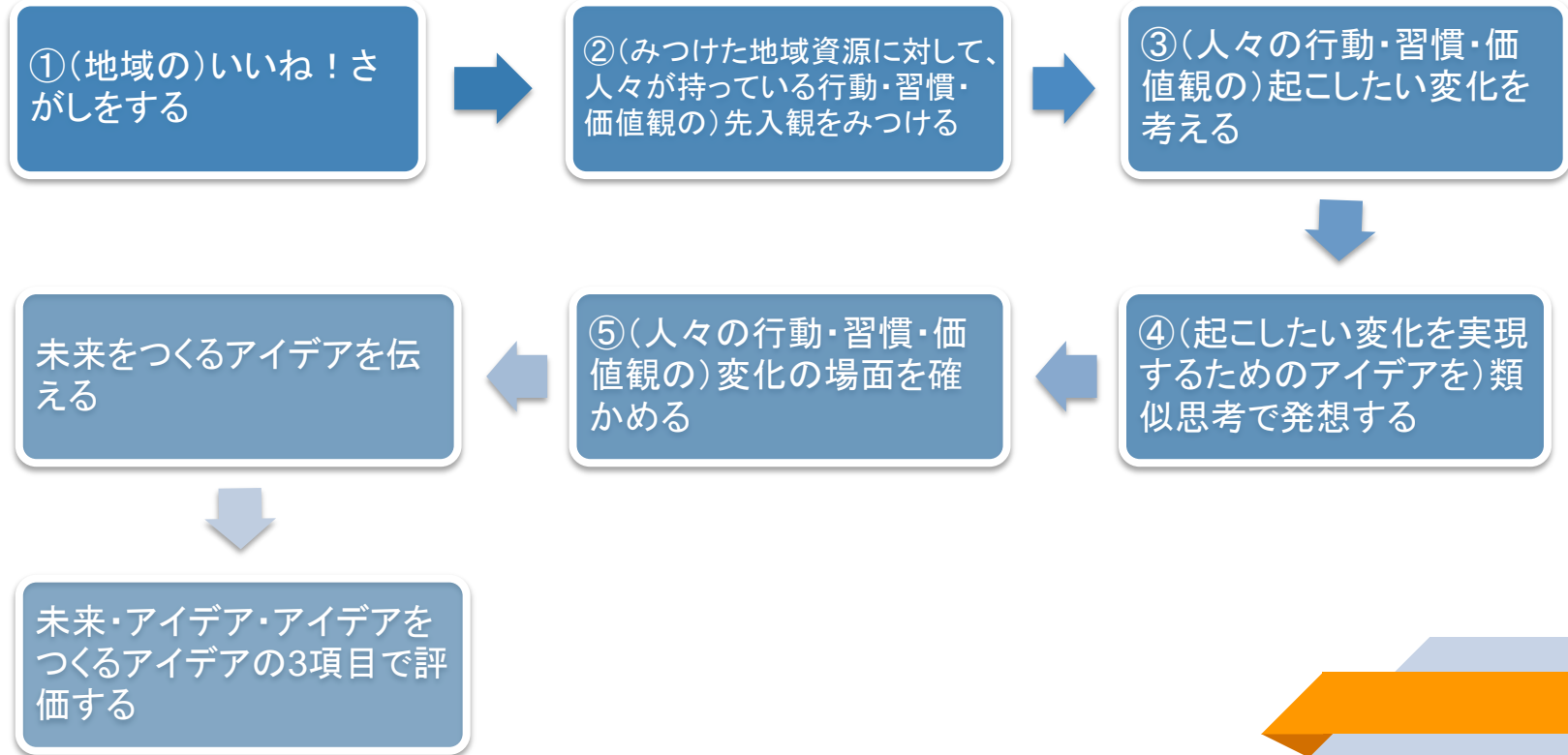
- 商品開発を行う際に持つべき心構えや作法、動機付けを学ぶ
- 講師：一般社団法人*i.club*代表理事小川悠氏
- 生徒47名、教員31名が参加

アイデア創造の“作法”

- アイデアを0から生み出し1にすることであり、アイデア創造の0→1(ゼロイチ)と呼ばれる



ミライを創るアイデアを創出するステップ



2 アイデア創造実践②

令和2年度（2020年12月）
ミラクルワードカード体験
ワークショップ

研修について



参加者 生徒**19**名(県立、市立、私立高校生)

教員**13**名

講師 「ミラクルワード」の生みの親、電通**B**チーム大山徹様

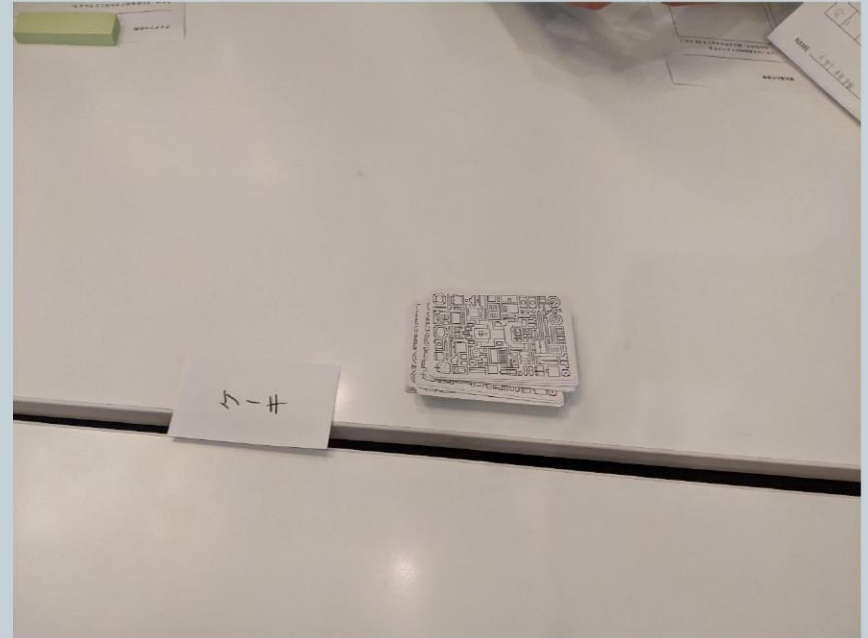
内容

ミラクルワードカードを使ったアイデア発想手法を学ぶワークショップを実施しました。このワークショップではアイデア発想は誰もが持っているスキルなのだと感じることができました。生徒は、新しいアイデアや、面白いプロジェクトを創造するスキルを身に付けることができました。教員も授業ですぐに使えるアクティブラーニング手法を体得することができました。

研修の様子

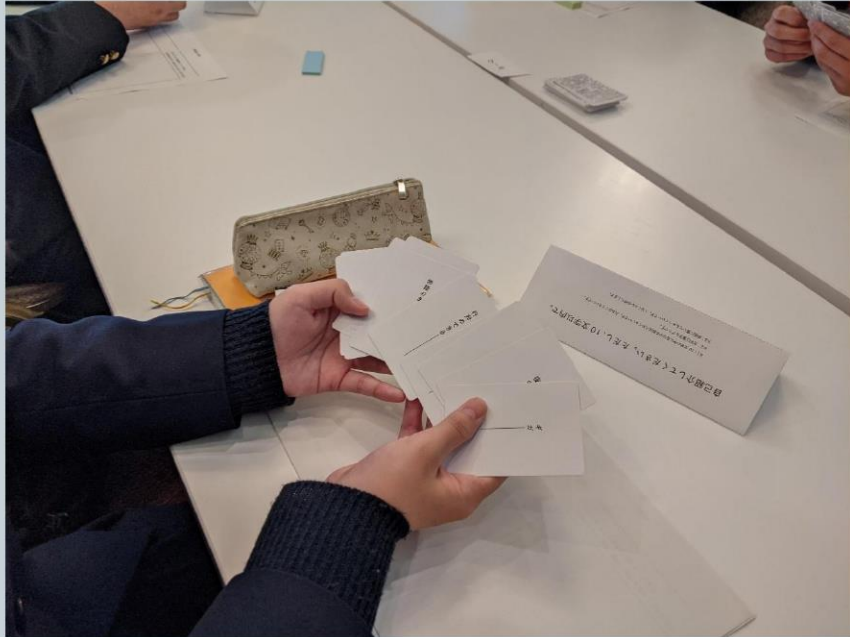


アイデア発想についての講義



「洋菓子」をテーマにミラクルワードカードを体験します

研修の様子



カードを配ります



選んだカードに付箋を貼ってブレインストーミングを行います

研修の様子

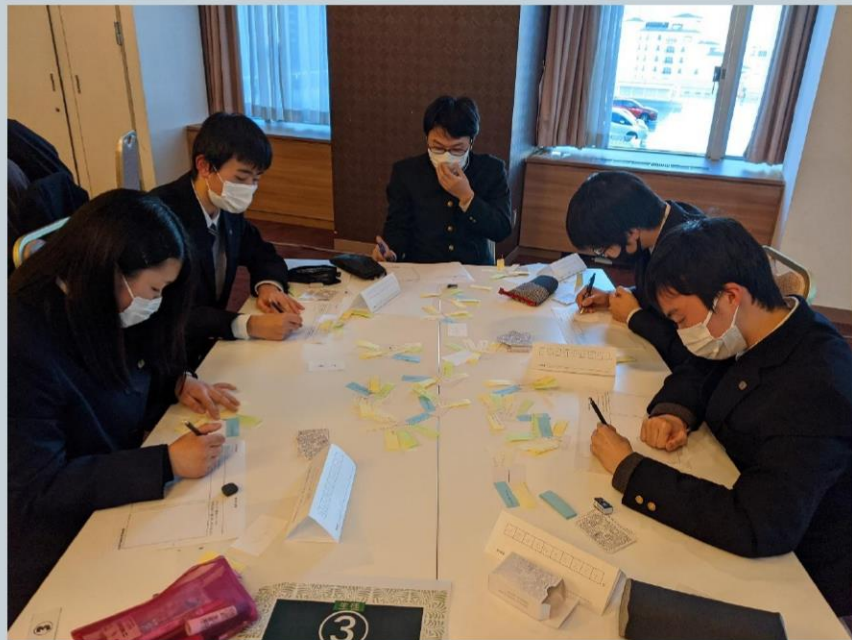


大山様からアドバイスをいただきます



アイデアを絞っていきます

研修の様子



アイデアシートにまとめます



発表し、アイデアを共有します

教員研修の様子



教員もカードを体験しながら研修します
生徒の様子も観察しています

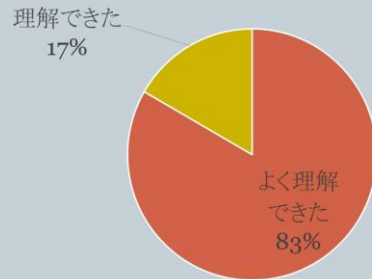


教員もアイデア発表を行います

参加生徒アンケート

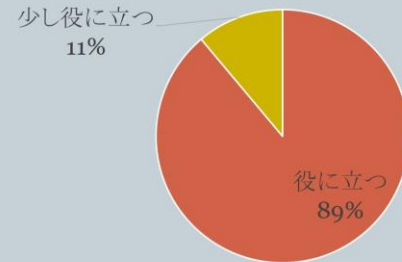
研修後のアンケート結果
〔生徒〕ワークショップの内容が理解できたか？

回答：参加生徒，N=18



〔生徒〕ワークショップは今後の学校生活や進路実現に役立つか？

回答：参加生徒，N=18



ワークショップの内容について(参加生徒, 自由記述)

説明が分かり易く、テンポよく進んでいくのについていくことができた。時間が過ぎるのが早く感じるほど楽しかった。

高校生でも分かり易くて、興味を持って伝わりやすい話し方でよかった。

プロジェクターの映像とトークが理解しやすい構成だったのですんなり頭に入ってきた。

商品企画の大変さや、どのように発想するかの方法が知れた。

とても分かり易く説明していただき、スライドも理解しやすかった。

新しいモノや時代の作り方についてプロの考え方の考え方を学ぶことができた。

マーケティングを学ぶのは初めてだったけれど、イケていて正しいというところの考え方が自分の部活にも使えると思った。

「考えたことをなんでも口に出してみる」ことでおもしろいアイデアが生まれるのだと気づいた。

商品開発という授業でなかなかアイデアが出ず、毎回大変な思いをしていたのですが、今回のワークショップでアイデアの出し方を理解することができました。今後の授業が楽しみになりました。

ブレストでみんなで話し合うことでより一層楽しくなった。自分で考える時間もあり、アイデアに深みが出た。

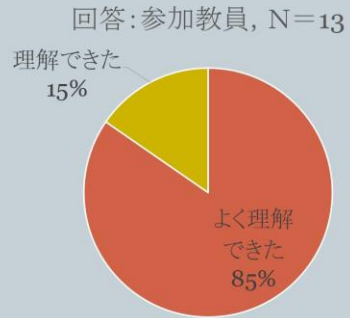
アイデアは量を出さないといけないということを学びました。

今まで授業でアイデアを出すことをしたことがあるが、自然にテーマに合った「正しいもの」を作らなければならないというように考えていたのでその考えが変わりました。

今まで「正しい」「正しくない」の二択で考えている自分がいたように感じ、それが変わった。いろんな可能性を教えてもらった。

参加教員アンケート

〔教員〕ワークショップの内容が理解できたか？



〔教員〕ワークショップは今後の教育活動に役に立つか

回答：参加教員，N=13



3

イノベーション教育実践①

平成30年度（2019年2月） 第1回イノベーション・ワークショップ



2月16日(土)
兵庫県高等学校
商業教育協会
マーケティング・ビジネス経済分野
研修委員会 主催
『生徒学習講座』

ゼロイチ
商品開発0→1体験ワークショップ
ミライをつくるアイデア創造を体験しよう！

コーディネーター
I.C.L.U.B. ディレクター 神田 謙

兵庫県の商業高校生と甲南大学生が商品開発における
アイデア創造の一連の流れを協働で学ぶワークショップ

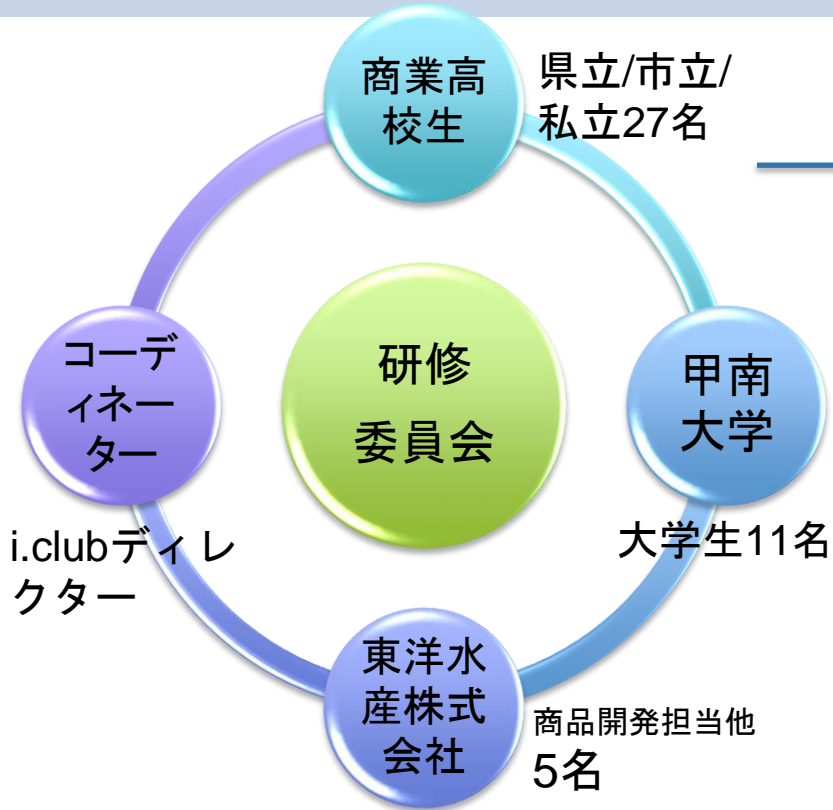
【午前の部】10:00 - 12:10 アイデア創造の作法を学ぶ (132講義室)
※昼食休憩12:10-13:00 (グループで東洋水産株式会社のカップめんを飲食)
【午後の部】13:00 - 16:30 グループワーク、発表会 (COMMONS、甲南学生ラウンジ)
東洋水産株式会社様から頂いた商品開発案件をもとにグループで実務研修に臨みます。

甲南大学生 × 兵庫県の商業高校生 × 東洋水産株式会社

企画・運営：マーケティング・ビジネス経済分野研修委員会
研修リーダー：藤岡（東立神戸商業）、佐々木（私立神戸商業）、西村（東立神戸商業）、杉田（甲立神戸商業）



イノベーション・ワークショップ



ワークショップの教育ゴール

1・ミライをつくるアイデアを出すための作法(原則、手順)を理解する

2・企業から出されるテーマにおける、ミライをつくるアイデアをだすことに挑み、ミライをつくるアイデアをだすために大切な3つの心を理解する



イノベーション・ワークショップ

■ プログラム

1部

・ミライをつくるアイデアって？！

2部

・ミライをつくる練習をしよう！

3部

・ミライをつくる起こしたい変化を創造しよう！

4部

・ミライをつくるアイデアを創造しよう！

5部

・ミライをつくるアイデアを発表しよう！



イノベーション・ワークショップ (午前)

■ グループワーク



チーム編成

高校生(県立)

大学生

高校生(私立)

高校生(市立)

■ スキットの演習



■ カップ麺試食



東洋水産株式会社から提供



イノベーション・ワークショップ (午後)



■ 東洋水産株式会社商品
開発担当田淵からの講
義とインタビュー

■ カップ麺の新しいミラ
イを創造する

■ 企業担当者やディレク
ターによるアドバイス

起こしたい変化シート / VALUE CHANGE SHEET

チーム名



■ いままで / Now (いままでの人々の価値観・行動・習慣)
(イラストと / by illustration)



(言葉で / by text) 「いままでは一人々は〇〇だった」の例で…
いまでは人は女性のカップラーメンを
人前で食べるのが恥ずかしいと思っていた

■ 未来 / Future (これからの人々の価値観・行動・習慣)
(イラストと / by illustration)



(言葉で / by text) 「これからは一人々が〇〇な未来」の例で…
これからは女性が人前で堂々とカップラーメンを
食べられるような未来

■ 起こしたい変化につながった先入観 / Bias that lead to Value Change

いまの価値 (先入観) / Bias

逆説の価値 / Paradoxical Value



アイデアシート / IDEA SHEET

6

B

■ アイデア名 / Name of Idea

(わかりやすく・簡潔に)

Women

■ アイデアの概要 / Idea Outline

(聞いたことも、見たこともない人にアイデアが伝わるような説明)

容器のデザインをサンプルで、ラーメン屋を無くす。写真などは一切利用せず、文字や柄をオシャレにする。容器はカワイイスマートにする。季節によってデザインを変える。例えば、クリスマスや桜バージョンなど。
・中身も女性向けにヘルシーでカロリーもおさえたもの。
・匂いもおさえて体にやさしい商品。

■ アイデアのイラスト / Diagram

(イラストや図を使ってプロダクト・サービスを表す)



■ イチオシポイント / Feature Points

(アイデアのイチオシポイントも箇条書きで)

- ・ 女性が入前で食べやすい
- ・ 体にやさしい

■ 発想のヒント / Referred Ideation Hints

(アイデアを考える上で活用した企業資料・類似思考があれば簡潔書まで)



変化の場面シート / SCENE OF CHANGE SHEET

テーマ番号

6



■たれが？（登場人物） / Who?

若い女性（一人）

■いつ？（登場時期） / When?

昼、夜中

■どこで？（登場場面） / Where?

コンビニのイトイン（一人）

■アイデアがない世界では、その登場人物はどのようなになっているのか？の場面を説明またはイラスト / Text or Illustration of Scene without idea

カップラーメンが食べたいが周りが気になり、他の商品を買ってしまおう。

■アイデアがある世界では、その登場人物はどのようなになっているのか？の場面を説明またはイラスト / Text or Illustration of Scene with idea

悩むことなく食べたいカップラーメンを周り様を気にすることなく堂々と食べれる。

あ、今日はラーメンを食べたいからラーメンを買おう！
これには行かない。
みんながアイディアがないから、みんなが気にならな
い、買おう！！



イノベーション・ワークショップ



協調学
習

省察



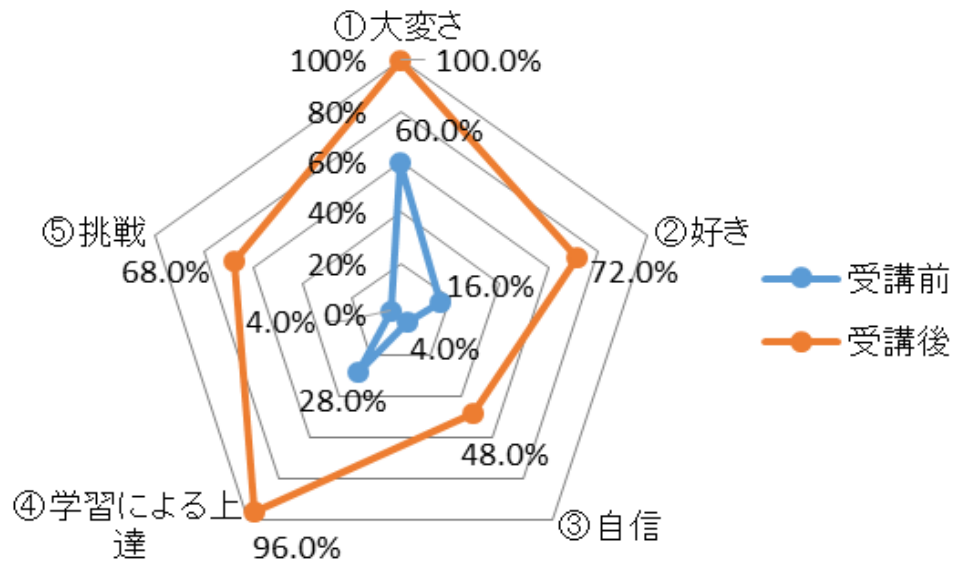
新しいミ
ライの
創造



イノベーション・ワークショップアンケート

1.イノベーションについて;受講前と受講後の変化

N=25

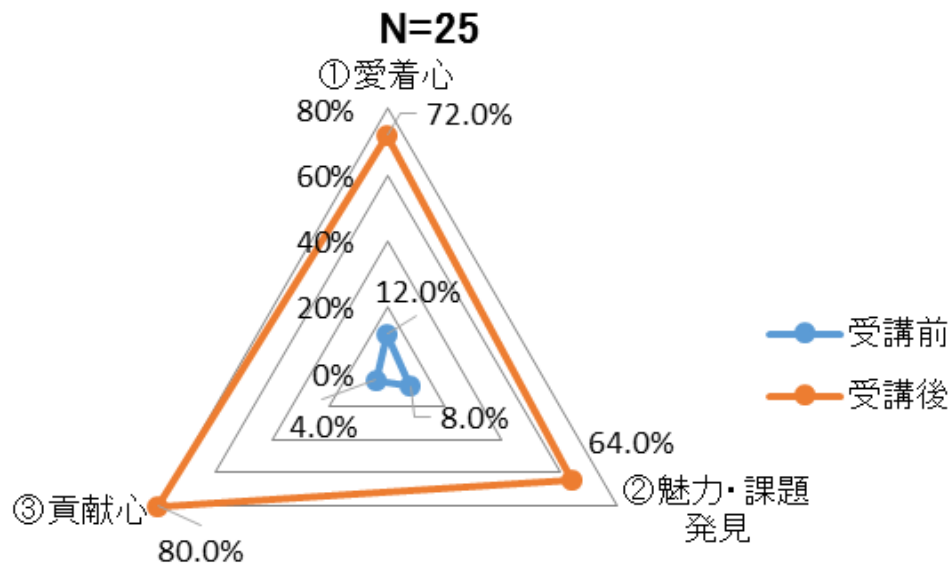




イノベーション・ワークショップアンケート

生徒の感想

2.地域の企業について;受講前と受講後の変化



- 今では、自分で何か変えることができる「ミライ」があるのではないかと思える。
- 自分のアイデアを出すだけでなく、発信するところまで体験することで、商品開発の楽しさに気づいた。
- グループワークでは、どんどんアイデアが湧いてきて自分に自信がついた。アイデアの出し方を学ぶことで、考え方が変わった。

3

イノベーション教育実践②

令和元年度（2020年2月）

第2回イノベーション・ワークショップ

兵庫県高等学校商業教育協会の「商品開発 0→1体験ワークショップ」を実施しました！

- ◆高校生、甲南大学の学生が計34名が参加
- ◆「寒天の未来をつくるアイデア」に挑戦
- ◆パートナー企業
寒天で国内シェア8割を占める伊那食品工業さま



<http://innovationclub.jp/news/report/806/>



企業様から自社における商品開発についてのご説明

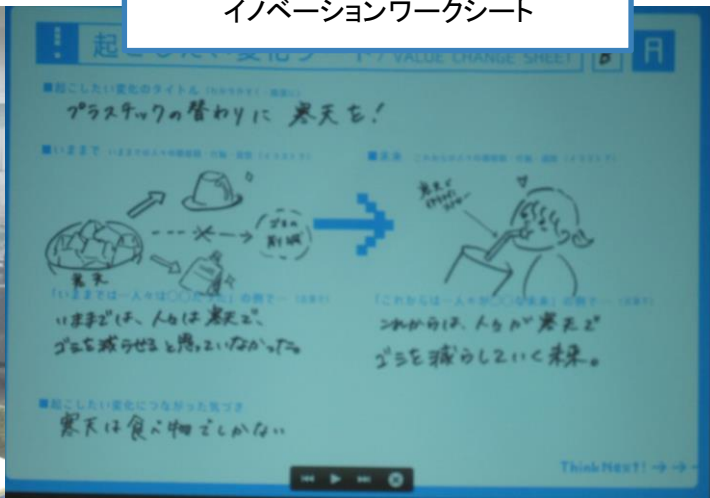
企業様の商品を試食

グループでアイデア創造

アイデアプレゼンテーション

イノベーションワークシート

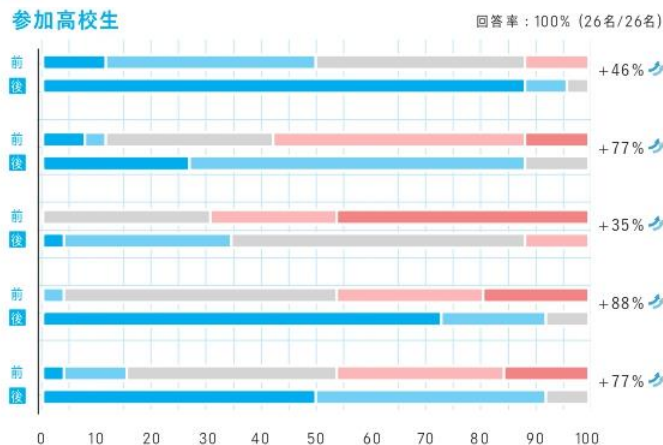
企業様からのご講評



EDUCATIONAL EFFECT 教育効果

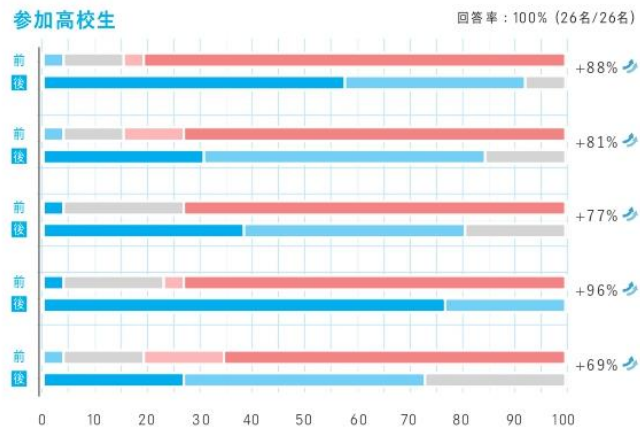
A-1. 未来をつくるアイデアについて

- 1-1 未来をつくるアイデアを出すことは、大切だ
- 1-2 未来をつくるアイデアを出すことが、好きだ
- 1-3 未来をつくるアイデアを出すことに、自信がある
- 1-4 未来をつくるアイデアを出すことは、学ぶことで上達できる
- 1-5 未来をつくるアイデアを出すことに、挑戦したい



A-2. テーマ(寒天)について

- 2-1 寒天の魅力を理解している
- 2-2 寒天の課題を理解している
- 2-3 寒天に対して興味がある
- 2-4 寒天に可能性を感じている
- 2-5 寒天の未来をつくるアイデアを出したい

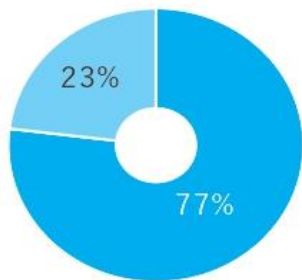


■ 非常にそう思う ■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そう思わない ■ 全くそう思わない

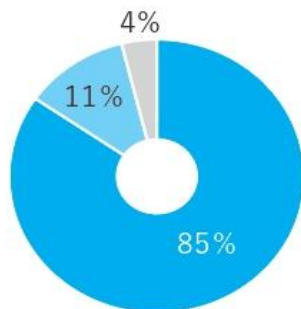
「未来をつくるアイデアを出す作法や心構えを学ぶと同時に、寒天の可能性を存分に感じる事ができた」

B-1. プログラム(2/8)の評価

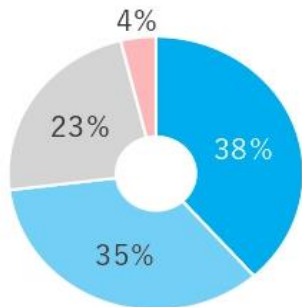
回答率：96% (26名/26名)



1-1. プログラムを受けて楽しかった

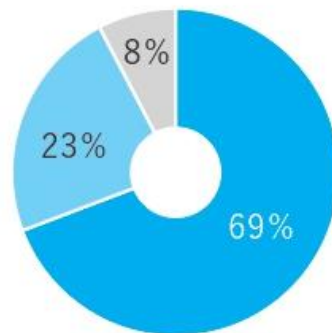


1-2. プログラムを受けて学びがあった

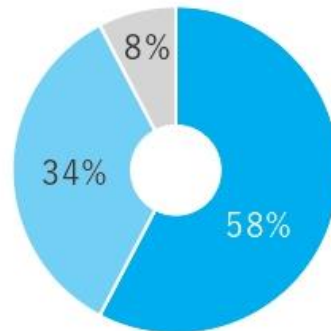


1-3. プログラムでの学びは
普段の授業とつながりそう

- 非常にそう思う
- そう思う
- どちらともいえない
- そう思わない
- 全くそう思わない



1-4. プログラムでの学びは
将来生かせそう



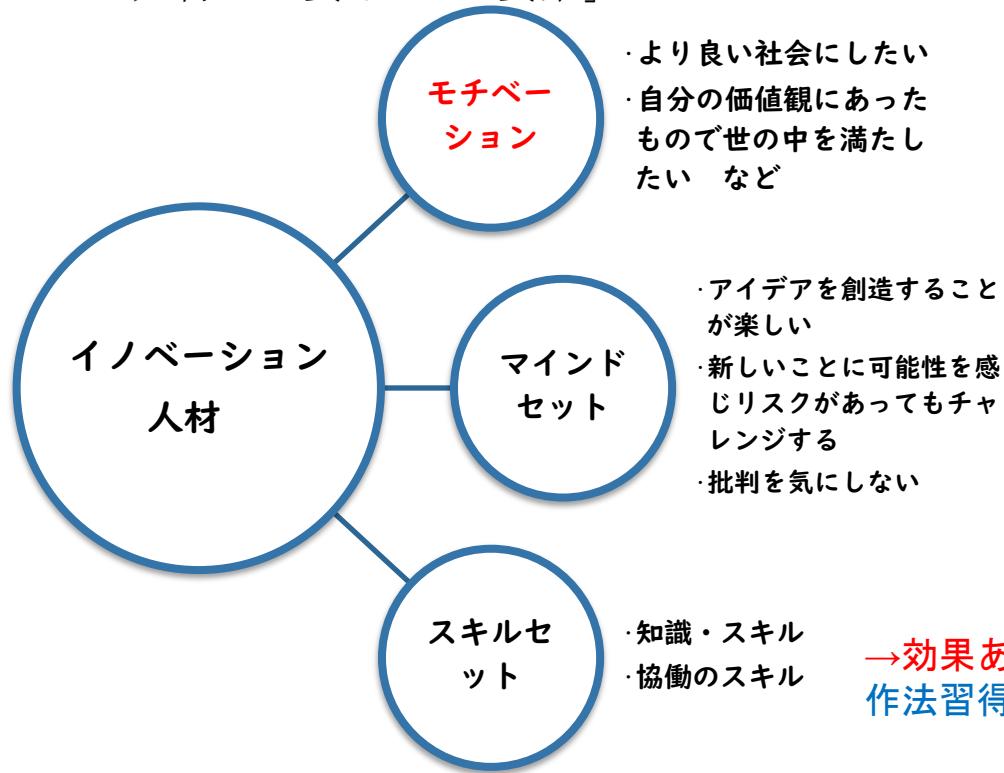
1-5. 高校でも同様のプログラムが
あったら受けたい

- 非常にそう思う
- そう思う
- どちらともいえない
- そう思わない
- 全くそう思わない



2回の研修からの課題

i.school 「イノベーション人材に必要な3つの要素」



→短時間では効果が得られない
プログラムが継続できるしくみが必要

→効果あり
ワークショップが成功体験に

→効果あり
作法習得

3

イノベーション教育実践③

令和3年度（2021年7月・11月）

第3回イノベーション・ワークショップ

→チャレンジ・ワークショップ

事前学習

イノチャレ2021神戸 事前学習
スーパーの売り場を観察し、以下の調査をし、まとめてください。
※この学習課題は17日に必須です。

名前 _____

学校名: _____ 高等学校 学年: _____ 年生

学科: _____ 科 調査日: _____

練り製品売場にはどんなものが売られていますか？	練り製品以外の売場ではどんなものが売られていますか？
練り製品はどのくらいの価格で販売されていますか？	スーパーマーケットで、カネテツ社の商品はありますか？
練り製品以外の売場ではどんなものが売られていますか？	競合商品にはどんなものが売られていますか？

スーパーの売り場を観察・調査

- ・ 練り製品売場に売られているもの
- ・ 練り製品の価格相場
- ・ カネテツ商品について
- ・ 競合商品について

1回目 チャレンジ・ワークショップ

研修の概要

参加者：生徒25名(県立、市立、私立高校生)、大学生6名

教員：10名

日時：令和3年 7月17日(土) 10:00~16:30

場所：カネテツデリカフーズ株式会社 本社 会議室
(〒658-0033 神戸市東灘区向洋町西5丁目8)

講師・プログラムコーディネーター：一般社団法人 i.club ディレクター
神田 大樹 様

協力企業：カネテツデリカフーズ株式会社

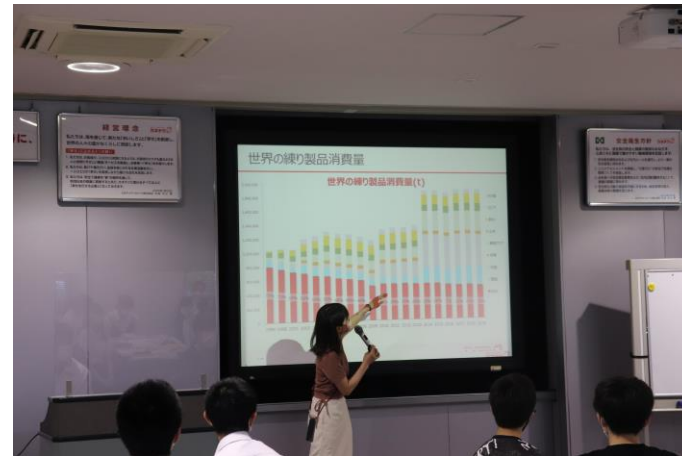
研修の様子



練り物について現状の把握

講義

イノベーションとは
新しい価値観・行動・習慣をつくること



研修の様子

ワークショップ

各チームに大学生が1名入り高校生をサポート



スキット（寸劇）を用いたプレゼンテーション



11月13日のプレゼン大会に向けて

試作会



カネテツ様からいただいたすり身で
考えた商品を実際に作ってみました。



成形がうまくできない。
思っていた味にならない。
商品の方向性が曖昧になった。
など、問題点が浮き彫りに。

11月13日のプレゼン大会に向けて

てっちゃん工房での体験



実際のちくわ・かまぼこ作りを体験し、ヒントを得ました。
また、問題点について高原泰彦様に質問をし、改善策を考えました。



11月13日のプレゼン大会に向けて

試作会リベンジ



学校に帰ってきてすぐに
改善策を実践してみました。



2回目 チャレンジ・ワークショップ

研修の概要

参加者：生徒25名(県立、市立、私立高校生)、大学生6名

教員：10名

日時：令和3年11月13日(土) 10:00~16:30

場所：カネテツデリカフーズ株式会社 本社 会議室
(〒658-0033 神戸市東灘区向洋町西5丁目8)

講師・プログラムコーディネーター：一般社団法人 i.club ディレクター
神田 大樹 様

協力企業：カネテツデリカフーズ株式会社

2回目 チャレンジ・ワークショップ

ICTを活用して資料作成



2回目 チャレンジ・ワークショップ

カネテツ様にプレゼンテーション



経営の目的
全社員の物心両面の幸福を追求すると同時に、
人類社会の進歩発展に貢献すること。

経営理念
私たちは、誠を以て、共に歩み、共に成長し、共に輝くことを目指し、
世界の人々の幸福に貢献していきます。

安全衛生方針 カネオガキ
私たちは、食料品の安全と健康の確保のみならず、
心身ともに健康に働き、笑顔で働くことを目指します。
安全衛生の確保は、すべての活動の前提条件として、
安全衛生の確保を第一とします。
① 安全衛生の確保は、すべての活動の前提条件として、
安全衛生の確保を第一とします。
② リスクアセスメントを実施し、対策を講ずることで、
リスクを低減させます。
③ 安全衛生の確保は、すべての活動の前提条件として、
安全衛生の確保を第一とします。
④ 安全衛生の確保は、すべての活動の前提条件として、
安全衛生の確保を第一とします。

アイデアシート IDEA

アイデア
「から
会います！」

アイデアの説明
食パンのかわりに、食パン一味
香ばしい作りかたを
揚げた食パンに使用する
食パンと食パンの
食パンのかわりに、食パン一味
香ばしい作りかたを
揚げた食パンに使用する

① 食パン一味
② 食パン一味
③ 食パン一味

① 食パン一味
② 食パン一味
③ 食パン一味

① 食パン一味
② 食パン一味
③ 食パン一味

① 食パン一味
② 食パン一味
③ 食パン一味

① 食パン一味
② 食パン一味
③ 食パン一味

子と
師(中3)

子と
師(中3)

子と
師(中3)

1 星城
2 神港
3 須磨
長田
神戸
小野

プレゼンの結果

カネテツ社長賞

小野高校「鱈いま！」

カネテツアイデア賞

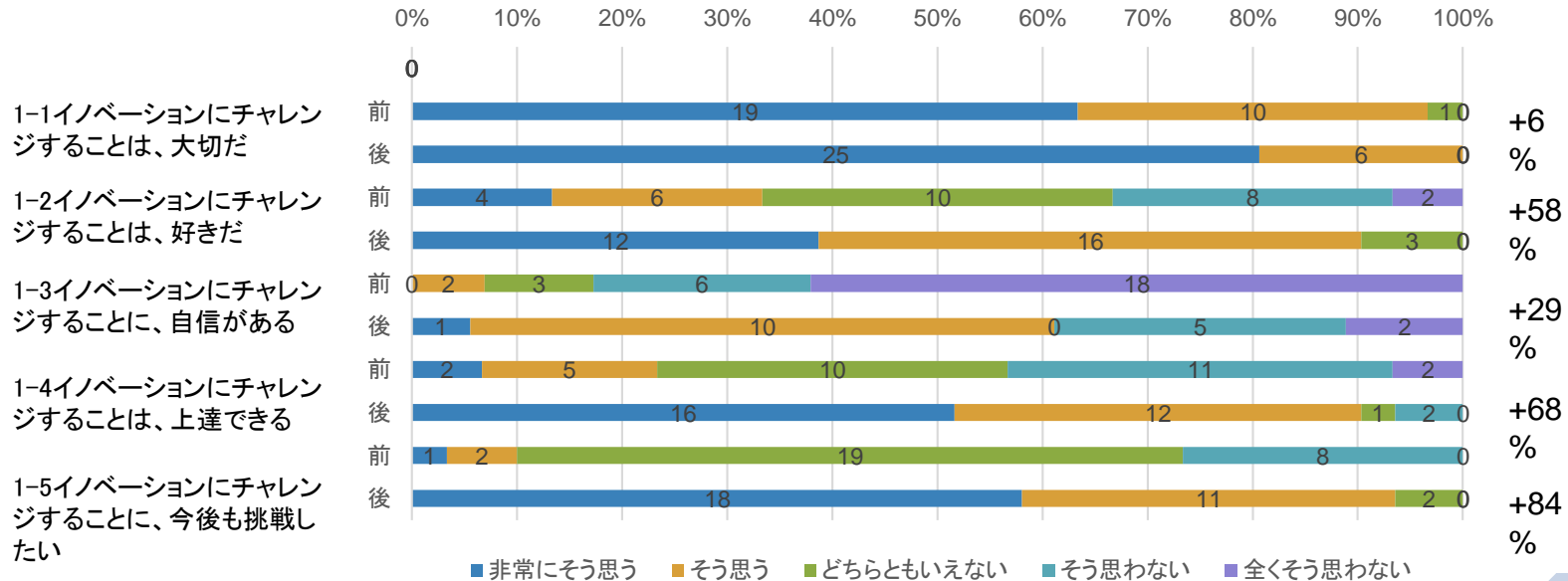
神戸星城高校「気まずくて美味しいからあげ」

イノチャレ！賞

神戸商業高校「“ギョッ”つとするデザート」

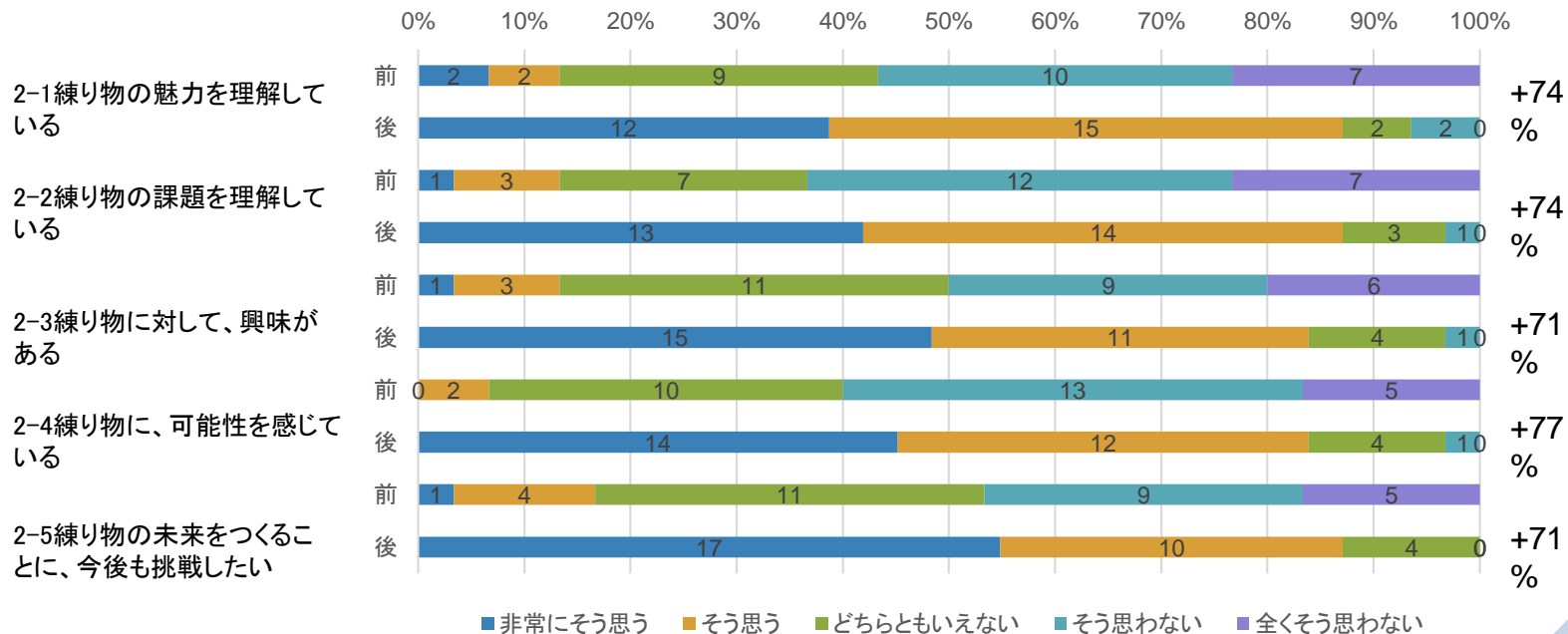
研修の成果①

イノベーションにチャレンジすることについて



研修の成果②

ワークショップ・テーマについて



研修の成果③

- ・アイデアはいきなり考えるのではなく、今までの価値観などをもとに考え、PDCAで改善する
- ・イノベーションはまず未来をどうしたいかを考えることが大切で、人々の価値観を変えると知った。
- ・商品に差がなければプロモーションで差別化するということ。
- ・幅広い世代に受ける商品を作ることが大切。年齢層の広がりを意識する。
- ・提案するときには他の似ているものと何が違うのかと問われることが印象に残った。
- ・スキットが楽しかった。劇で伝える方が分かりやすく、自分たちの理解も深まる。
- ・プログラムを受ける前よりも自分に自信が持てた。

4 評価に関する研修

令和元年度（2019年7月）
学習と評価が一体化した
ICEモデル

Marketing・ビジネス経済分野
研修委員会主催 『教員研修講座』

募集
兵庫県
高等学校
職業教育
協会
申込締切日
6/24
(月)

学習と評価が一体化した
ICEモデルの体験
アイス

日時：7月5日(金)13:00～17:00
会場：神戸星鷲高等学校・大倉講堂
(神戸市須磨区蘇我1丁目12-1)

講師
講師：古藤 健二 氏
立命館大学経済学部長、
立命館大学経済学研究所
長、立命館大学経済学
部経済学専攻主任、
立命館大学経済学
部経済学専攻主任、立
命館大学経済学部
主任教授、立命館大
学経済学部主任

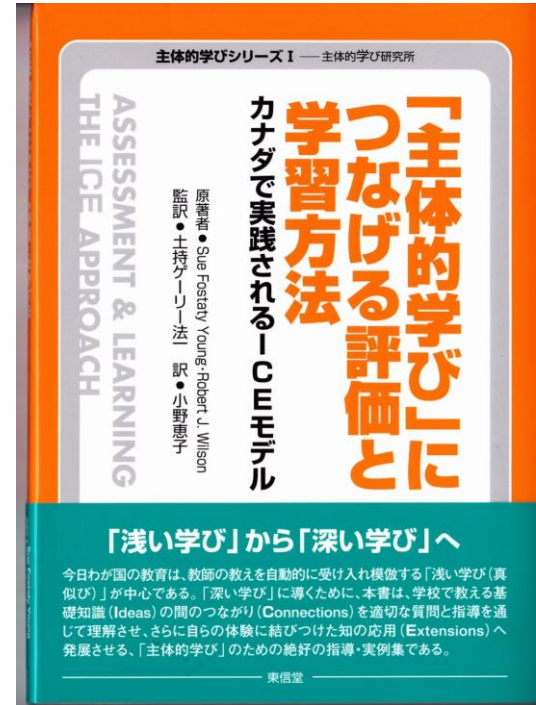
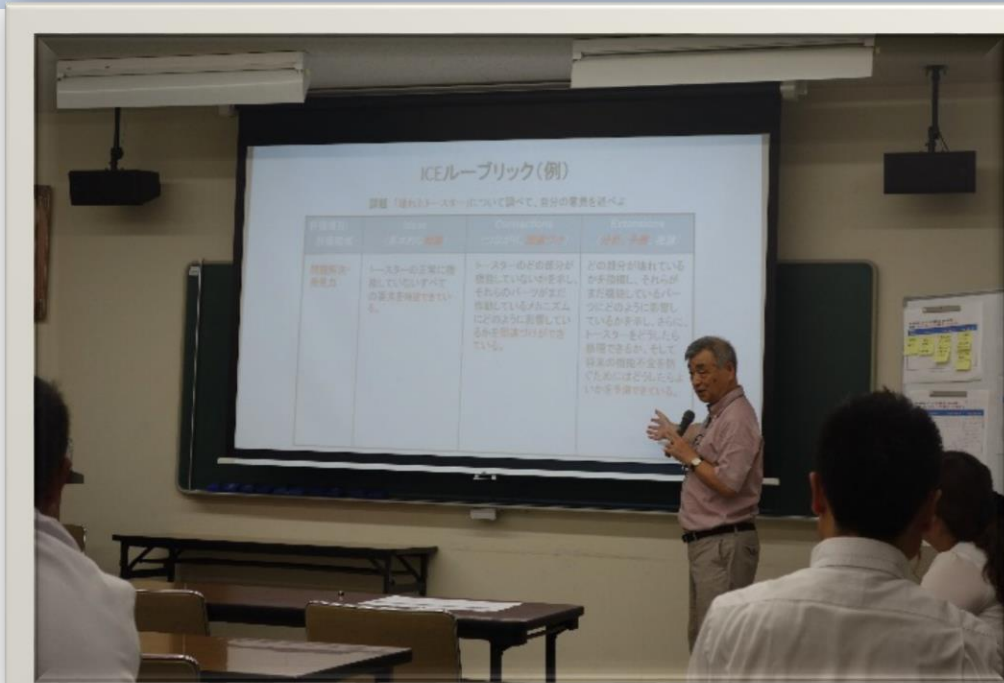
参加費：無料（お弁当は各自でお願いします）
対象：兵庫県高等学校教員研修会の教員
（イメージアップ、IT・英語経済分野以外の方もご参加いただけます。）

※参加希望者は必ずお申し込みを、お申し込みが必要となります。
お申し込みは研修事務局までお願いいたします。

お問い合わせ：イメージアップ・IT・英語経済分野事務局
（神戸市中央区南長狭町1-1-1）4F402号室（TEL）078-801-4024



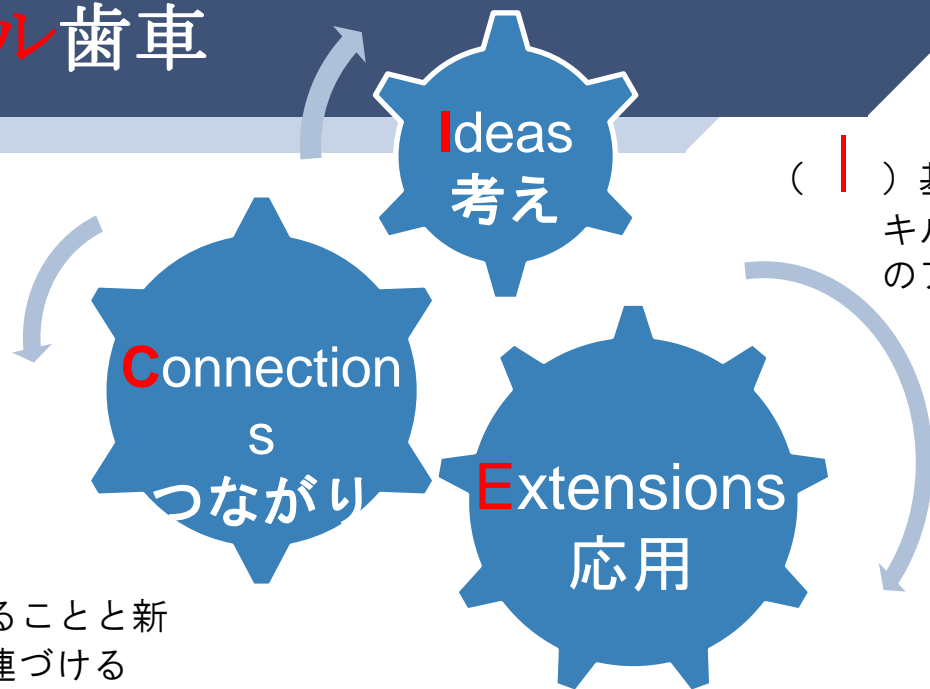
学習と評価が一体化した I C E モデル



京都情報大学院大学副学長、主体的学び研究所顧問 土持ゲーリー法一先生



ICEモデル歯車



(I) 基礎、事実、個々のスキルなど、一つひとつのアイデアの理解

(C) 自分の知っていることと新しいアイデアを関連づける
／2つ以上あるいは別々のアイデアをつなげて理解することができる

(E) 知っていることから今までにない状況を推定する／結果を予測したり、仮定する／学んだことの意味合いを理解する／仮説を立てる／新しい課題に対応する



ICEルーブリック (例)

課題 「壊れたトースター」について調べて、自分の意見を述べよ

評価項目/ 評価領域	Ideas (基本的な知識)	Connections (つながり、関連づけ)	Extensions (分析、予測、推論)
問題解決・発見力	トースターの正常に機能していないすべての要素を 特定 できている。	トースターのどの部分が機能していないかを示し、それらのパーツがまだ作動しているメカニズムにどのように影響しているかを 関連づけ ができている。	どの部分が壊れているかを指摘し、それらがまだ機能しているパーツにどのように影響しているかを示し、さらに、トースターをどうしたら修理できるか、そして将来の機能不全を防ぐためにはどうしたらよいかを 予測 できている。



→記述量が増えていくと良い→



ICEモデル ワークショップ

マーケティング戦略をICEで考える
～〇〇を中心に～

(注: 想定する企業や業界、商品等は各グループで調整する)



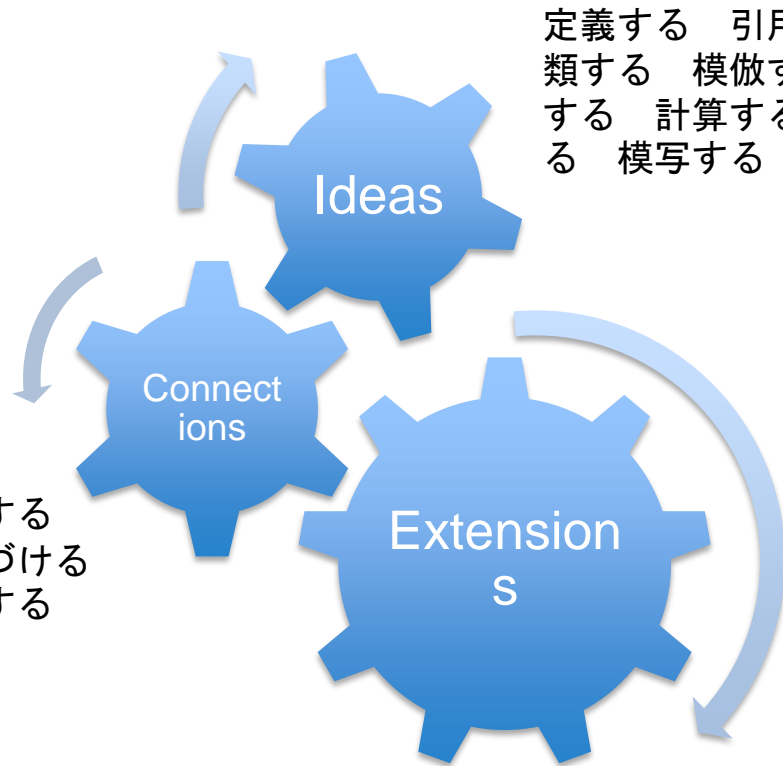
〇〇〇についてのICEルーブリック

評価項目／ 評価領域	Ideas (基本的な考え)	Connections (つながり、関連づけ)	Extentions (可能性、展望、意欲)
---------------	-------------------	----------------------------	---------------------------

バックワードデザイン

- ① **E領域**の評価基準を考える
- ② **ICE動詞**の中から、最も適当な動詞を探す
- ③ **C領域**そして**I領域**の順にデザイン

I C E 動詞（参考）



定義する 引用する 列挙する 分類する
模倣する 特定する 暗唱する 計算する
報告する 反復する 模写する

分析する 予想する 批評する
防御する 新しい状況を推定する
仮定する 推論する

適用する 適合する 比較する
変換する 区別する 関係づける
分化する 統合する 解釈する
体系づける 格付ける



グループワーク



電子決済（○○P a y）についての批判的思考 I C E ルーブリック

評価項目／ 評価領域	Ideas （基本的な考え）	Connections （つながり、関連づけ）	Extentions （可能性、展望、意欲）
批判的思考	Pay決済の種類やターゲット、用途を 定義できている 。 日本人の思考の特性や思想を特定する。 Pay決済の問題点を 列挙する 。	SWOT、PPM、PESTなどのマーケティング分析ツールを使用し、Pay決済を比較する。 Pay決済の問題点と日本人の思考を 関係づける 。 過去の事例(マイレージやポイントカード等)の淘汰例と 関係づける 。	Pay決済の種類や用途、使用するターゲットを具体的にあげ、マーケティングの分析ツールを用いて分類・比較する。さらに、過去の類似例を検証し、日本人の文化的な思考の観点から考察し、今後のPay市場の未来を 予測する 。

USJのマーケティング戦略についての I C E ルーブリック

評価項目／ 評価領域	Ideas (基本的な考え)	Connections (つながり、関連づけ)	Extentions (可能性、展望、意欲)
チームで課題発見する力	USJの売上を計算する顧客満足度を 数値化する 。 売上を伸ばすための課題を 指摘する 。 土産・飲食での売上、アトラクション、顧客がお金を使う場所を 特定する 。	他のテーマパークの売上を 格付ける 。 一人当たりの待ち時間とその過ごし方を 調査する 。 他のテーマパークと比較し、売上やアトラクション、コラボの傾向を 体系付ける 。	トラブルやリスクを予測できている。 現状の問題点を指摘し、競合企業の動向を分析した上で、新アトラクションの戦略や経営の改善策など、新たな提案とその効果について 予測できている 。

女性・高齢者へのキャッシュレス化の浸透についての I C E ルーブリック

評価項目／ 評価領域	Ideas (基本的な考え)	Connections (つながり、関連づけ)	Extentions (可能性、展望、意欲)
問題解決	女性や高齢者へのキャッシュレス化が遅れていることが特定できる。	諸外国に比べ、女性の就業率が低いこと、自由に使えるお金が少ないなどの原因について考察する。	女性や高齢者へのキャッシュレス化を浸透させるにはどのようにしたらよいか、新しいサービスを提案する。同時に、起こりうるリスクを予測できる。

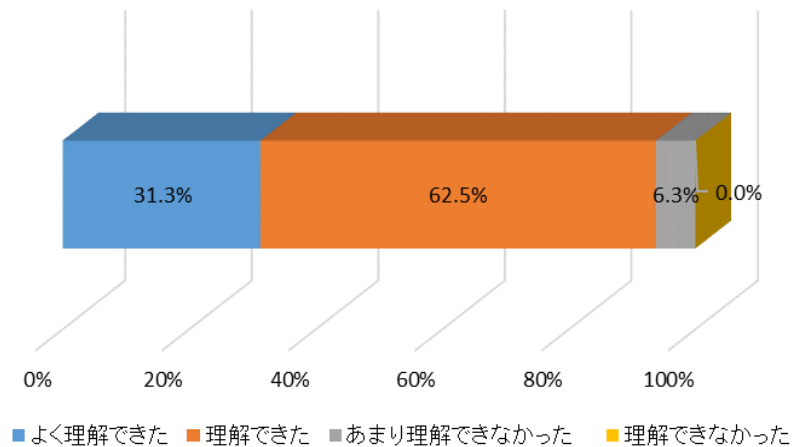
キャッシュレス化についての I C E ルーブリック

評価項目／ 評価領域	Ideas (基本的な考え)	Connections (つながり、関連づけ)	Extentions (可能性、展望、意欲)
問題解決 発見力	キャッシュレス化の現状を他国との差などについて把握する。	キャッシュレス化の長所・短所について考察する。 現金とキャッシュレス化を比較する。	キャッシュレス化を導入することによって、レジの回転が速くなる、現金の計算間違いがなくなるなど店側の利点を予測する。 不正利用に関する予防策を推測することができる。

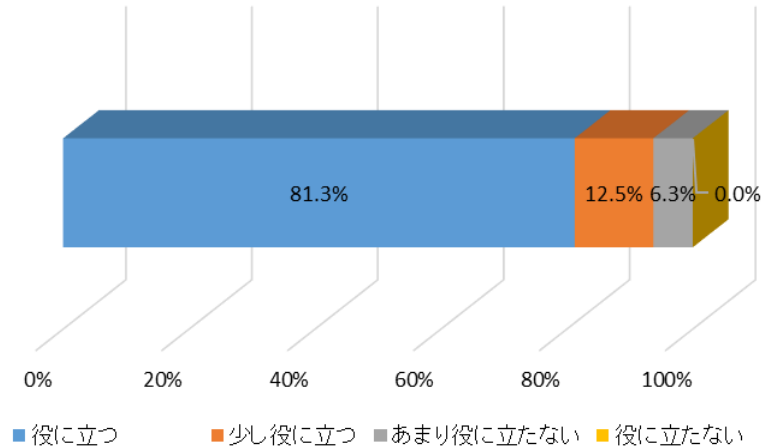


ICEモデル アンケート

1 今回の研修内容は理解できましたか



3 今回の研修は今後の教育活動に役立つと思いますか



5

自校での展開事例



本校での授業実践—商品開発—

百貨店連携による商品開発



スキットを使ったプレゼンテーション



令和3年度起業家教育プログラム実施校

Japan Challenge Gate 2022

全国ビジネスプランコンテスト

集まれ！ 未来の起業家。

全121件の応募の中から
1次審査（書類審査）通過
＜16件＞



センコー賞: 神戸商業高等学校 水島 詩乃さん他、計1名

「MYボトルチャージ」

JFC 日本政策金融公庫

創造無限 高校生ビジネスプラン・グランプリ

学校賞（22校）

- 札幌新陽高等学校
- 北海道釧路商業高等学校
- 山形県立酒田光陵高等学校
- 栄北高等学校
- 東京都立世田谷総合高等学校
- 東京都立第五商業高等学校
- 神奈川県立中央農業高等学校
- 山梨県立甲府工業高等学校
- 石川県立金沢商業高等学校
- 岐阜県立岐阜商業高等学校
- 帝塚山高等学校
- 愛知県立旭丘高等学校
- 愛知県立愛知商業高等学校
- 啓明学院高等学校
- 兵庫県立神戸商業高等学校
- 広島修道大学ひろしま協創高等学校
- 広島学院高等学校
- 広島県立広島国泰寺高等学校
- 山口県立防府商工高等学校
- 大手前高松高等学校
- 真和高等学校
- 大分県立別府翔青高等学校



本校での授業実践 — 課題研究 [地域イノベーション講座] —

関西SDGsプラットフォーム ユースアクション優秀賞



地域連携イベントの実施 多数

高校生の部(4)

	作品名	所属	名前(チーム名)
No.1	リボンのバッジで目指す自己表現ができる高校づくり	関西創価高等学校 2年生	リボンバッジプロジェクトチーム
No.2	シロバナタンポポ班	京都府立桂高等学校 3年生	シロバナタンポポ班
No.3	寺社を守ろうプロジェクト ～高校生発地域イノベーション～	兵庫県立神戸商業高等学校 3年生	寺社を守ろうプロジェクトチーム
No.4	I-challengeで、広がる、つながる	四天王寺高等学校 1年生	MelSoU



生徒研究発表
最優秀賞・優秀賞



全国summit出場
地域特別賞



本校での取り組み紹介—ICEモデル視察—

熊本県立熊本第二高等学校視察（2021年12月）

みつめる力

課題発見力
豊かな感性
柔軟な想像力

きわめる力

計画力
実行力
情報収集力・処理能力

<創造的復興に必要な力>

つなげる力

主体性・協調性
知識融合力
社会貢献力

～ミニテーマ研究ICEルーブリック評価表～

それぞれの観点において、当てはまる事柄（文章）にすべて○を付けてください（複数回答可）。

評価の観点		I (Ideas) -習得-	C (Connections) -活用-	E (Extensions) -探究-	小計
		(1点)	(1点)	(1点)	
ICE評価の概念		知識の蓄積ができていますか？情報の収集、分析、保存ができていますか？ 	複数の事柄を関係付けて考えることができていますか？知識と日常生活での経験をつなげることができていますか？ 	根拠を持って予測を立てられていますか？今までの知識を総動員して、未知の課題に論理的に取り組んでいますか？ 	
みつめる力	課題発見力	先行研究をきちんとまとめることができています。	先行研究を身近な別の問題に置き換えて課題を設定できている。	社会に役立つような課題を設定できている。	点
きわめる力	実行力・計画力	仮説を立てている。	先行研究をもとに仮説を立てている。	仮説を立て、それを立証するための調査や実験を行い、独自のデータを得ている。	点
	論理的思考力	考察をすることができている。	数値を用いて客観的に考察をすることができている。	数値を用いて複数の観点から深く考察することができている。	点
つなげる力	表現力	ポスターが丁寧で、文章が正確である。	ポスターにグラフや表、写真等が1つ以上ある。	一見して何のポスターであるかがわかり、人の興味・関心を引き付けられそうである。	点
	コミュニケーション	研究を丁寧に説明できた。	質問を受け、それに対して適切に回答できた。	聴き手とのやり取りの中で新たな発見を得ることができた。	点
ICE評点		I得点	C得点	E得点	総計
		点	点	点	点



本校での取り組み紹介 ーグランドデザイナーー

建学の理念

「国や社会に有益な人材の育成」

校訓

自主 創造 感謝

教育精神

「独立自尊と礼節」

本校のミッション

1. 起業家精神と高い志を持ち社会に貢献できる次世代リーダーの育成
2. 県下はもとより全国の商業に関する学科を有する学校の指標としての自負と責任
3. スペシャリストとして高度な専門性を身に付けた商業人の持続可能な育成

本校のビジョン

1. 「何かを成し遂げる」チャレンジスピリットと、フロンティアスピリットを持って社会で活躍する人材の育成
2. 学校で培った知識をさらに深化させ、将来のビジネスリーダーを育てるため、進学型商業高校の確立
3. 起業家精神の涵養とおもてなしの心を育み、三方良しの考えを備えた商業人の育成

目指す学校像

1. 地域の課題解決やビジネスを創造し、地域に愛され信頼され、地域と共にある学校
2. 就職にも進学にも強く、部活動にも強い、文武両道の学校
3. カリキュラムの多様化により、少人数制教育を導入したスペシャリストを育成する学校

グラデュエーション・ポリシー

生徒育成方針

1. 独立自尊の精神を持ち、豊かな心を持った人間力
2. 高い志を抱き、自ら考え行動できる力
3. 諦めず、本気でチャレンジする力

目指す教師像

1. 「何を学び、身に付けることがきたのか」について相手の生徒の学習成果を可視化することができる教師
2. 変化の激しい現代において教師自身も学び続ける姿勢を持ち生徒の多様な進路実現に向けて行動できる教師
3. 目標達成のためにチームとして協働できる教師

カリキュラム・ポリシー 教育課程編成・実施方針

1. 何が出来るようになるのか、どのように学ぶのかが明確な授業
2. 実学を重視し、体験的活動により人間力を高める教育活動
3. 主体的・対話的で深い学びを通して、思考力・判断力・表現力を高める授業
4. 基礎学力の向上と専門性を追求した学力を高める教育活動

育成する資質・能力

協働力	創造力	対応力
伝える力	見極める力	論理的計算的思考力

各学年の特色は次のとおりです



アドミッション・ポリシー

生徒募集方針

1. 明確な目標を持って学校生活に臨む生徒
2. 商業教育に対する興味・関心を持ち、将来に向け地道な努力ができる生徒
3. 好奇心・探求心やチャレンジ精神旺盛な生徒



6

おわりに

研修の成果と今後の展望

イノベーション教育 (成果)

イノベーション・ワーク
ショッププログラムの
パッケージ化

チャレンジ・ワークショッ
プ実施による各校への
イノベーション教育の普
及・定着

学習と評価の 一体化(成果)

商業科目における
ICEモデルのケースス
タディ

各校での活用
・パフォーマンス課題で評価な
ど

FD研修の強化 (課題)

大学からの学び

- ・ 学習と評価についての知見

実務(企業)からの学び

- ・ 外部講師招聘など

分野横断的な研修

- ・ 共通する課題を解決するため



ご清聴ありがとうございました。